

さんさんだより

平成 30 年 6 月 29 日 (第 1 号)

兵庫小学校
算数 少人数 T T
出口・中尾・諸石



今年度も、少人数 T T 担当として、全学年、全クラスに入り、学級担任と協力して、算数の指導を行っています。昨年度に引き続き、2・5年生は諸石。3・6年生は中尾。1・4年生は、江原に代わって出口が担当します。1年間どうぞよろしくお願いします。

今年度の兵庫小学校は、「自ら考え、進んで表現する子ども」をめざしています。そのため、授業では、自分の考えを、図、式、言葉で、分りやすくノートに書いたり、話し合い活動を通して、友達の考えとの類似点や相違点を見付けたりしていきます。子どもたちが、よりよい考えを探求し、友達のよさをより多く発見できるように支援していきます。このお便りでは、算数の時間の児童の様子を学年ごとにお知らせしていきます。

<1・4年生> 担当 出口

(1年生) 1年生は5クラスです。週に1時間ずつ、2時間目の算数の時間に指導に入っています。入学して約2ヶ月で、0~9の数字をバランスよく書けるようになりました。たし算やひき算の式をノートのマス目にそろえて書くなど、ノートの使い方にも少しずつ慣れてきました。「あわせて」は、たし算。「のこり」は、ひき算。計算の仕方が分かる言葉をしっかり理解しています。これまで、ブロックや指を動かしながら答えを確かめてきましたが、頭の中で、反射的に答えが言えるように、たし算・ひき算のカードで繰り返し練習して、計算のスピードアップを図っています。数に関するいろいろな経験を積み重ねて、量感も身に付けて欲しいと思います。

(4年生) 4年生は、「角度」について学習しました。これまで、2つの辺がつくる形を「角」



として学習してきましたが、今回、新たに、回転する量の「角度」として、角の大きさをとらえました。辺の開きを理解させるために、2枚の円を重ねて回転させながら角をつくったり、写真のような、手作りの団扇を開いたりして、量感を体得させました。また、三角定規を組み合わせるいろいろな角度をつくりました。これらの活動は、垂直と平行、四角形の特徴の理解にもつながっています。

<2・5年生> 担当 諸石

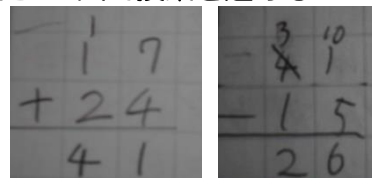
(2年生) 2年生は、基本的には、一週間に1時間ずつ学級担任と2人で授業を進める T T (チームティーチング) の形態で学習しています。

「たし算の筆算」「ひき算の筆算」では、①位をたてにそろえて書く②繰り上がった数や繰り下がった数を書いておくことが大切です。

3年生の「かけ算の筆算」や4年生の「わり算の筆算」でも必要なので、ご家庭でも、毎日数問で良いので練習をさせてください。

また、「長さをはかろう」では、「mm」「cm」という2つの単位

が出てきました。測定したり、目盛りを正確に読み取ったりするのが、まだまだ難しいようです。これからも、ものさしで直線を引いたり、目盛りを読み取ったりすることは繰り返し練習していきます。



繰り上がり、繰り下がりのある筆算を書いた児童のノート

（5年生） 5年生は、担任と一緒にT Tと学級を2つに分ける少人数で学習をしています。「直方体や立方体の体積」の単元では、長ぐつ型（L字型）の体積の求め方の学習をしました。分割して考えたり、足りない部分を補ってから後で引いたり、移動して公式を使いやすい形に変形したりして、いろいろ工夫して体積を求めました。

大きな体積の学習では、1mのものさしを使って作った 1m^3 の形の中に、子どもたちが何人入れるかの活動をして、体積の量感を味わわせました。しかし、体積と容積の関係や「 $1\text{L}=1000\text{ml}$ 」「 $1\text{m}^3=1000000\text{ml}=1000\text{L}$ 」などの単位換算が苦手な児童も見られます。これからも、普段の生活の中で、復習しながら定着させていきたいと思います。



【求め方を分類する児童】

<3・6年生> 担当 中尾

（3年生） 3年生は、担任と一緒に授業を進めるT Tを中心に行っています。1週間に各クラス1時間しか入ることはできませんが、子供たちの学習の手助けをしていきます。

「長いものの長さのはかり方」の学習では、2年生で学習した長さの単位m、cm、mmからさらに長い単位kmを学習しました。1km=1000mと単位換算は大切です。また道のりと距離のちがいも学習しました。



3年生で初めて学習する「わり算」では、〇人に分けると『一人分は何個?』という問題、〇個ずつ分けると『何人に分けられる?』という問題を考えました。式の立て方や答えの求め方など、進んで考える事ができました。また、わられる数、わる数やかけられる数、かける数などの算数用語も、学年が上がってさらに使いますので、しっかり使えるようにしたいですね。

（6年生） 6年生は、担任と一緒にT Tと学級を2つに分ける少人数で学習をしています。

「円の面積」の学習では、どのようにしたら面積を求められるかを5年生で平行四辺形や三角形、台形の面積の求めた学習を思い出して、知っている形に変えることで公式にたどり着きました。円の面積が求められるようになると半円や $1/4$ の円の面積も求められるようになりました。その後、ラグビーボール型（葉っぱ型）の面積をこれまで学習した求め方を活用して求めることができました。



「分数のかけ算」では、分母どうし分子どうしをかけるという公式を覚えるだけでなく、どうしてそうなるのかを考えさせました。一人で考えた後、

友達と意見交換をして、みんなで公式に近づいていきました。また、文章問題でも、どうしてかけ算になるのかの理由を考えさせ、その理由を言えるように指導しています。図や式、言葉などを使って自分の考えがどんどん書ける子どもたちに育てたいと思います。また、自分の考えを友達やみんなに自信をもって伝えることができるよう指導していきます。